（様式２）

報　　告　　書

令和　７年　３月　17 日

岡山県議会議長　久徳　大輔　　殿

議員氏名　蓮岡　靖之
（署名または記名押印）

派　遣　の　概　要　は　次　の　と　お　り　で　し　た　。

１　目　　的　　（議員派遣申請書の「目的」欄と同じ内容）
① 阿蘇くまもと空港、ターミナルビル改修の概要等について
② 福岡県地域公共交通計画の概要について
③ 九州運輸局ライドシェアの取組み状況等について

２　派遣場所　　（議員派遣申請書の「派遣場所」欄と同じ内容）
① 阿蘇くまもと空港（熊本県上益城郡益城町小谷 1802-2）
② 福岡県庁（福岡県福岡市博多区東公園 7-7）
③ 国土交通省九州運輸局（福岡県福岡市博多区博多駅東 2-11-17）

３　派遣期間　　令和　　７年　　２月　18 日　～　令和　７年　２月　19 日
（議員派遣申請書の「派遣期間」欄と同じ内容）

【 報告事項 】

1. 阿蘇くまもと空港、ターミナルビル改修の概要等について

【説明者】

熊本国際空港株式会社　ＫＫＩＡＣ（ｹｰｷｱｯｸ）

執行役員 経営企画本部長 友清 佳樹 様、経営企画・財務部長 松田 秀之 様

熊本県企画振興部交通政策・統計局交通政策課 課長補佐　　黒川 賢一郎 様

【概要】

阿蘇くまもと空港の概要およびターミナルビル改修の概要について調査を行

った。昭和46年開港以来五期に渡り増改築がなされていたが老朽化も重なる中、国際線ビルも合わせて増改築工事を予定していた。平成28年の熊本地震により国内線ビル等に多大な被害を受け3日間の完全閉鎖、順次再開したものの復旧には9カ月以上要した。コンセプトは甚大な被害を受けた地域の創造的復興のシンボルとして、九州の広域防災拠点機能を有する耐震性能、国内線・国際線を一体化したターミナルビルの整備、また地域住民が利用しやすい空港として再建している。運用はコンセッション方式を導入して、出資会社ＫＫＩＡＣが運営し、今後は国際線の増便や空港アクセス鉄道整備、バス路線の拡大など交流人口の拡大により空港を活用した地方づくりを目指している。

【考察】

まさに国管理空港としての陣容を整えていた。TSMC の進出という環境もありコンセッション方式の運用としては成功例に挙げられる様相であった。その礎は、熊本県における「大空港構想」を2012年から打ち上げており、行政の意気込みの強さにあったのではないか。その後熊本地震を経て空港機能を強化してきており、免税店の充実なども含め魅力的な空港となっていた。課題としては、熊本駅からのリムジンバスの運行が1時間を超え慢性的な渋滞対策等も挙げられる。いずれにしても、岡山空港を大規模改修しようという時期にあって、行政の積極的な空港行政への関与が必要不可欠である。残念ながら、岡山県行政にはその気運を見て取れない。今後、熊本空港の取り組みを好事例とし、岡山空港の大規模改修に取り組んでいただくよう県行政に働きかけていきたいと思う。

2. 福岡県地域公共交通計画の概要について

【説明者】

2/19 福岡県 企画・地域振興部 交通政策課 課長 窪西 駿介 様

【概要】

福岡県の策定する福岡県交通ビジョン２０２２において過疎地域における運転手不足、移動手段の確保、自動運転やＡＩを活用したオンデマンド交通、ＭａａＳ等の新たなモビリティサービスについて取り組み状況を調査した。

【考察】

数々の先進的な行政を行っている福岡県の面目躍如といった感であった。本県行政にとっては遠く及ばない内容に、少々残念な気持であった。アジアを見据えた、九州・山口を含む広範囲な地域交通ネットワークに資する計画であり、このような大規模感は、本県行政には見て取れない。参考事例として成り立つかどうか、本県行政に問いただしたい。

3 九州運輸局ライドシェアの取組み状況等について

（2/19 国土交通省九州運輸局）

【説明者】九州運輸局 自動車交通部 旅客第二課 課長 松原 陽介 様

同 管理第一係長 田中 公樹 様、

同 主査 是久 和保 様

【概要】

ライドシェアの取組状況について調査。福岡交通圏（福岡市・春日市・大野城市・筑紫野市・太宰府市・古賀市・糸島市・那珂川市・粕屋郡）では令和 6 年6月より日本版ライドシェアを導入し41社のタクシー会社が参入している。

【考察】

どこにも偏在するライドシェアの問題を九州運輸局が積極的に自治体や交通事業者と連携し、交通空白解消に向けた取り組みを行っており、評価に値する内容であると思った。本県においても、まずは事業者との調整が肝要であり、ドライバーの人材の補充や拡充も課題となっている。岡山県においてデマンドタクシーの運行が行われているところもあるが、日本版ライドシェアは玉野市において初めて許可され、この春から運行予定とのこと。瀬戸内芸術祭を見込んだ取り組みであるが、この実績を参考にしていく段階である。県行政にしっかりと検証を促し、交通弱者減少に向けて取り組むよう働きかけて参りたい。

・調査にあたってのねらい、調査内容、考察、今後の取組等を中心に作成されている例が多く見られます。

・調査内容を補完するような資料がある場合は添付してください。